

「イエスキリスト」

～重荷を降ろして～

ある人の家に、クリスマスコンサートのチケットが届きました。メッセージには「ぜひこのクリスマスに楽しいひとときを」。その人は、喜んでコンサートに出かけたのですが、実はそれは泥棒で、コンサートの間に空き巣に入っていたのです。クリスマスには、私たちにとって本当に大切なものを奪っていく者がいるのです。それはあなたの心の隙間にこっそり入って盗み、何事もなかったようにこっそり去っていくのです。これがクリスマス泥棒です。12月は慌ただしい時期ですが、私たちは心を騒がせてはいけません。イエス様が生まれた理由は、あなたのすべての重みを取り除かれ、あなたが過去から平安になるためです。クリスマスはキリストをもう一度思い返し、礼拝するという意味です。イエス様が生まれる紀元前の時代、彼らはずっと生まれるのを待ち望み、備えていました。だから私たちも1か月前から備えているのです。あなたにとってクリスマスの日が本物になるようにしていきましょう。クリスマスをお祝いする時、読んでおきたいのは、イザヤ書の53章1節です。イエス様が生まれたのはこのためであるからです。イエス様は、神として生まれてはきませんでした。糞土にまみれた馬小屋で、飼料おけの中に入れられ、十字架にかけられる時に巻く麻布にくるまれて生まれてきました。なぜ、神様はこのような方法をとったのでしょうか。神様は、力によってこの地を治めるのではなく、人々の心に変化をもたせる方法を選んだのです。力と弾圧と武器によって強制された変化は、一時だけです。人の心を変えるやり方は時間がかかり、ユダはそのじれったさに耐えられなくなりました。しかし12人の使徒にだけに伝えられたメッセージは、2000年経ち、今や全世界の半分の国民がこの神様の誕生を祝う日に成長しています。クリスマスの日に私たちは人の心が変わる奇跡を見なければなりません。私たちは奇跡を体験していますが、すぐにそれを忘れてしまいます。1549年、フランシスコ・ザビエルが日本にキリスト教を布教してからわずか3年後、日本初のクリスマス礼拝が捧げられました。それはイエス様がなぜ生まれたのかを悲しむクリスマスでした。当時の戦国武将らも闘いを休んで礼拝を捧げたとされています。イエス様はあなたの病を背負うために十字架にかかったのに、クリスチャンですら、イエス様の十字架の奇跡を信じて礼拝をしながら、それとは違う人生を歩んでいます。人に傷つけられ、人を憎み、過去を傷んでいるのです。私たちの教会は、あなたに「過去をしっかりとみてください」と、過去を大事にしています。それは過去を憐むのではなく、土台にするためです。それは解決された過去です。だと知りながら、前述の泥棒のように、あなたに違う事に目を向けさせることで大切なものを奪っていきます。私は癒されたのと信仰告白ができないようにさせ、不足に目が向かせてしまいます。小さな事故がおきることで「なぜ？」と不信になるのです。「なぜ？」がおきたら、忘れたり我慢したりするのではなく、立ち止まりなさいということです。みなさん黙想していますか。黙想をすすと間違った決断をしようとした時に分かるようになります。クリスマス1週間前の今日、過去をここに置いて帰るという決断をしてほしいと思います。誰かを憎んでいたりが痛んでいたりが愛ではなく、クリスマスの日には平安で優しい気持ちになり、誰かに愛を流す時でなければなりません。そしてそれがクリスマスの日だけでなく、毎日になっていかなければなりません。

イエス・キリスト

～重荷を降ろして～

イエスは「救いをもたらす者」、キリストは「油をそそがれる」という意味です。「油をそそがれる」というのは「過去を断ち切って神様とつながる」という意味です。なぜイエス様が油をそそがれているかというと、過去から生まれていないからです。内側から出てくる油は、過去から継承されたものです。ヘロデ王の先祖エサウは、知恵深く、思慮深くなりましたが、やることは同じで、短絡的・感情的で、恐れて何かをする人でした。日本人は、恥の文化で、自分の内側を人に言わない国民です。言わなくてはいけないことを隠して、心の中でうじうじ思っています。それはゴキブリのように何度断ち切っても繰り返し現れては、あなたの大切なものを食べ、あなたの心を騒がすのです。だからあなたはすべての重荷を降ろさなければいけません。悪魔はあなたの過去に潜み、こっそり心の穴から入ってきて、あなたの大切なものを破壊します。これが大変危険です。イエス様はあなたの過去を取り去るために十字架にかかったのに、未だに悪魔によって過去を置いていかれます。過去は解決しているのに、まだ過去を信じています。過去にとらわれていると、記憶の中で事実も変わっていきます。イエス様はあなたの重荷を負うと言っています。本当のクリスマスを知って重荷を降ろした人が、黙想の中で神様に完全に新しく

され、喜びの中で集わなければクリスマスは流れていかないのです。彼は死ねために生まれてきました。なぜでしょうか。あなたの思い煩いや不安を取るために十字架にかかりに生まれて来たのです。裏切られても痛くないように、虐げられても立っておられるように、つまずいても倒れてしまわないようにしてくれたのです。今までの過去は神様にしか解決できません。だからこそイエス様の人生にかえらなければなりません。イエス様のエジプトでの3年間は、世俗と裏切りと物欲の世界でした。重荷と喜びは紙一重です。プレッシャーを喜びに変えなければなりません。重荷を神様に委ねることができたら、喜びになるからです。

過去はBC

すべての歴史は、BC(紀元前)から始まります。そして、キリストの誕生を待ち望み、AD(主の時の意味)が来ました。私たちはその歴史を生きているのです。すべてキリストの時からあなたは数えられ、神の計画の中であなたは生きています。神の時がもう来たのです。過去を悩んだり傷ついたりするために見るのではなく、過去は土台です。新しい約束に変わるための古い約束です。それを理解して今日乗り越えましょう。『古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなった(第2コリント5-17)』だから25日を迎える前の1週間が大事です。教会に来て学ぶことは、過去の意味です。クリスマスは過去が土台となって栄光が現れる日です。あなたの過去は完全に神様の十字架で消えたのです。しかし、その時に持った価値観があなたの中に生きています。だから私たちは聖書と照らし合わせて共に学ぶのです。その時に過去を理解して、神の時が来たという事を理解することが大切です。その過去はあなたにとって過去の栄光をあらわすものなのです。

苦しみの中から

苦しみを知った土台に

神の栄光が現れるためには、その痛みを理解しなければなりません。人から裏切られ、あざげられ、ののしられ、人々は言いました。「彼は失敗者だ。罪を犯したから十字架にかけられた」と。あなたは自ら招いた罪ではない罪のゆえに、何故こんな目に合うのかということを知らなければなりません。なぜならこの世はこのようにして人々から愛を盗むからです。愛と反するものが人々を敵対させてしまうのです。たとえ愛し合って生まれた家族でさえも。でも痛みが分かる人はそうではありません。みなさんはイエス様の愛と十字架を知っています。だからこそみんなと違う事が出来るのです。神の時を知り、命を刻む時があなたに継承されたのです。あなたの歴史はイエス様の歴史につながっており、イエス様の歴史をあなたがたがたつないでいるのです。今この時から毎日が神の時に変えられていくのです。そして新しくなり、過去は土台となっていきます。天国に帰った時には、あなたの土台はとも大きく広くなるでしょう。悪魔に騙されてはいけません。人と比較して、痛んだ傷で痛まないでください。その傷は癒され、過去はすべて益になります。あなたの通ってきた過去には意味があり、無駄なものは一切ありません。命を捨ててもいいような出来事は、最大の土台になるのです。イエス様の奇跡は、あなたの心の過去に変化をもたらせたのです。あなたはあなたの過去を認めて完全に消してください。認めるには痛みが伴います。しかし認めなければ、決して変わることはありません。

祈り

人生には正解が間違いが分からないことがたくさんあります。しかし信仰によって踏み出したことにはすべて意味があり、大きな益を生み出します。傷ついた過去があるでしょう。でも神様は痛みを土台にして奇跡を起こし、あなたを造り変えます。今日という日は大きな変化をもたらす日になります。それは栄光に変わる益の日だからです。あなたの重荷を神に返して下さい。あなたの過去をイエス様に返して下さい。イエス様の十字架は生き様です。生まれた時から十字架にかけられるその日まで、わたしたちのすべてを背負われたイエス様の生き様です。今日もう一度イエス様の誕生を喜びます。そのために過去を取り去ります。私たちが新しくなれますように。今、イエスの御名によって、私の過去はキリストとともに十字架につけられた。イエス様の十字架と一緒に担ぎます。私を用いてください。過去をすべて土台に変えてください。イエス様の愛を流すために今があるのです。

(要約者:浅野 恵子)

(12月18日)